

# ぺてかり

日高南部森林管理署



平成24年度がスタートします！！

4月の人事異動等により、新たなメンバーとなります。

気持ちを新たにして、署長を先頭に、森林・林業の再生に向け、職員一丸となっていくしますので、これまでと同様に日高南部森林管理署をよろしくお願いいたします。

# 新年度にあたって



(署長 上平 清治)

たが、予定した事業については無事に終了することができました。職員各位のご協力の賜物と心からお礼申しあげます。

平成23年度は、「森林・林業再生元年」と位置付け、森林資源の活用を通じて、雇用の拡大にも貢献し、我が国の社会構造を21世紀にふさわしく環境に負荷の少ない持続的なものに転換し、山村のみならず、21世紀の我が国の成長を支える分野としての期待を担い、10年後木材受給率50%以上の目標に向かって、森林・林業再生の第一歩を踏み出しました。

当署においても、森林作業道等の低コスト路網整備や高性能林業機械による伐採作業の推進、そして市町村森林整備計画策定への支援等再生に向けての課題に取り組んできました。

平成24年度においても、これらの取り組みをより一層深化させ、森林・林業再生に向けて着実に前進していかなければならないと考えています。

間伐事業における列状間伐の推進や低コスト路網整備の推進等の取り組みにあたっては、施業技術の向上に向けて改良・改善の視点を忘れず、PDCAのサイクルを大切に取組んでいかなければなりません。

今、国有林は、大きな転換点を迎えるようとしています。「国民の森林」である国有林の管理経営にあたっては、公益機能重視の管理経営のより一層の推進と併せ、森林・林業再生への貢献として技術力を生かした民有林施策への支援が求められ、これらの役割を十全に果たしていくため、平成25年度以降は一般会計の下での管理経営の実施が日程に上っています。

私たちは、国民から負託された国有林の管理経営、さらに林業の再生

を担う者として、その職責の重さを再認識し職場一丸となって取り組んでいかなければなりません。

全国には、先輩諸氏や地域の人々が長きに渡って育んできた1000万ヘクタール超の人工林があり、今日、利用期を向かえています。

この貴重な財産をベースに持続可能な森林経営を確立していくことが、地球温暖化防止への寄与をはじめとする公益的機能の発揮や地域の発展に貢献する森林・林業の再生に繋がるものと確信しています。

職員一人一人が、常に国民から注視されていることを忘れず、法令遵守の姿勢と高い倫理観を持って、「国民目線」で業務に臨むことを誓い合い、平成24年度の事業を完遂して新生国有林の明るいスタートを迎えようではありませんか。

東日本大震災の発生から1年、震災からの復旧・復興に国を挙げて取り組んできた平成23年度でしたが、克服しなければならぬ数多くの課題が待ち構えているのが現状ではないでしょうか。

改めて、犠牲者の皆様のご冥福と、被災者の皆様の日も早い復興をお祈り申しあげます。

私たちの職場も、多事多難な一年であり、集中豪雨の影響もありまし

## お世話になりました



(佐久間 政敏)

年月の立つのは早いもので定年退職となりました。

新採はブナのある函館で、同管内に約30年勤務、その後、帯広・札幌管内と色々な木々を見ながら勤務させていただきました。

出身地の新ひだか町において、地域の人との交流、そして自然豊かな日高の山々を歩くことで若い人に負けない(??)体力を身に着けることができました。

親子二代に渡り静内で退職を迎えることができ幸せです。山づくりは「自分の山だと思つて手入れすると良くなる」と私は地域で話をしておりましたが、これからも森林を愛して暮らしていきたいと思つております。

最後に、職員皆様方のご健康とご多幸を祈念し退職のご挨拶とします。ありがとうございました。

# 新年度の安全対策について



次長 金澤 博文

労働安全の確保については、人命尊重を基本理念として、安全管理体制の活性化、基本動作の徹底、作業基準の遵守等により、重大災害はもとより労働災害の撲滅を目標に、局・署・現場一体となつて取り組んでいるところです。

さて、平成24年度の事業がスタートしましたが、平成23年度における公務災害の発生状況については、道局管内で4件の災害が発生しています。当署においては、平成21年8月に境界巡検、平成22年6月にも生産

事業予定箇所の路線予定線の踏査中にそれぞれ公務災害が発生し、2年連続で公務災害が発生したところですが、平成23年度は年間スローガン『安全作業は時間と心のゆとりからみんなで築く無災害』の下、職員皆さんの各種労働安全確保対策の取り組みにより、『無災害』を達成することができたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

これまでの災害の多くは、歩行中や刃物を使用中等に発生している状況となっており、このほかにも、重大災害に結びつく恐れのあるものや災害にはならなかったヒヤリ事故や通勤途上における災害も発生しているところです。

このようなことから、平成24年度においても、安全衛生管理重点施策等に基づき、

- ① 安全衛生管理機能の発揮
- ② 安全衛生教育の充実・強化
- ③ 安全作業の実践・強化

④ 蜂刺され災害の未然防止対策の推進

⑤ 健康管理の充実

⑥ 各種作業における安全対策の推進

⑦ 職業生疾病の発生予防

⑧ 交通安全教育指針等に基づいた安全教育による交通災害等の防止を重点施策として、署・現場一体となつて諸対策に取り組むこととしています。

また、職員一人ひとりが「自分の安全は自分で守る」ことはもちろんのこと、気持ちを新たに「仲間にも怪我はさせない」との同じ気持ち・認識を持つて、仲間の不安全な行動は見逃さず、その場で指摘し、言われた方も素直に受け止め反省するという初心にかえり、年間スローガン『安全は一人一人の意識から 高めて目指そう無災害』の下、署全体で「安全で明るい職場」を目指し、職員の健康管理の推進とともに、昨年度に引き続き『無災害』を達成するため、職員皆さんの一層のご理解とご協力をお願いします。

# スノーモビル使用時 における安全対策

今年も昨年の暮れからの降雪により積雪期を迎え、かんじきを装着して林内での作業を実行する時期になりました。

製品生産事業実行現場に通じる林道等以外は除雪をしていないため、車両での通行は困難な状況であり、冬期間に実行する地況・林況調査などの各種調査業務はスノーモビルで林道等を通行するケースが考えられるため、去る1月18日「スノーモビルの安全教育」を実施しました。

今年の安全教育受講者は22名が参加し、昨年と同じく署の会議室にて次長のスノーモビルに係わる類似災害の防止に係る説明や、基本的取り扱いのビデオ視聴を含めた講義を受講した後、署構内でトレーラーの取り扱いについて実技教育を実施しました。



さらに、署から現地（1林班）に移動して、スノーモビル操縦の実技を実施する中で、1年ぶりの感触を取り戻すと共に、カーブでの体重移動の大切さや、トレーラーに積み込む時の注意事項について再認識できた有意義な安全教育が実施できました。

最後に次長より日本の安全教育で勉強したことを基本に、無理の無い計画により、無理の無い操縦に心がけ、調査等が無災害で実施されるようにとの挨拶で全日程を終了しました。

【業務第一課長】

# 日高の森林づくりを広げる集い

## in新冠町レコード館



2月20日に新冠町レコード館において、日高地区「森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会」と、「森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議」主催の「日高の森林（もり）づくりを広げる集い」が開かれ、津元頼光北海道森林管理局長が、「北海道から始める日本林業の再生について」の基調講演を行いました。

森林・林業再生プランにおいて、国は木材の自給率を50%以上を目指し、木材の安定供給体制の確立、雇用の増大を通じた山村の活性化、木材利用を通じた低炭素社会へ貢献していくこと等について講演されました。

当日は、管内の議員連盟町議や林業関係者等多数の人々が参加し熱心に聞き入っていました。

【業務第二課長】

# 司法事務研修を実施



3月5日（月曜日）に、平成23年度職場内研修実施計画に基づく司法事務研修を、当署と日高北部森林管理署の二署合同で実施しました。

研修講師に、静内区検察庁検察官副検事 北島智大氏を迎え、両署の特別司法警察職員やその他の受講者を含め、総勢20名で講義を受けました。

講義内容は、森林犯罪と刑法の基礎知識及びその捜査方法と調書の作成・エゾシカ等残滓及び林道ゲートの破壊を発見した場合等について大変解りやすく説明して頂きました。

近年、特別司法警察員としての実務を行う事がほとんど無いことから、実際に森林犯罪を発見した時に行動出来るよう、また、特別司法警察員としての意識を低下させないよう、今後も研修を実施し知識と意識を向上させていく事が重要だと実感しました。

【管理係長】

# 北の森・森林づくり技術交流発表会

1月26日、北海道森林管理局において「北の国・森林づくり技術交流発表会」が開催され、当署からは、「えりも国有林緑化事業」豊かなクロマツ林の課題と未来の森林づくり」と題して、えりも治山事業所主任の志田有里絵さんが発表しました。

発表内容は、明治時代に開拓がおこなわれ、燃料材としての森林の伐採や家畜の放牧等により荒廃が進み、このため地元から「えりも国有林」の緑化に対する強い要望が出され、緑化事業を開始し、えりも式緑化工法や、防風垣の活用によって、緑化が飛躍的に進み、平成23年度で荒廃地面積約192haのほぼ98%の本木緑化が終了しました。しかし、えりも国有林では強風の中、苗木を成長させるため、通常よりも高密度で植栽をしており、混みあったクロマツの一斉林では、病虫害が発生した場合



に甚大な被害が懸念されるために、平成2年から枝落としや本数調整伐を行い、広葉樹の侵入を促し、母樹のない箇所は、今年度から実施した樹下植栽の適性樹種や植栽方法の検討と、今後、高台の強風地帯への植栽を進めるために、植栽木の生育調査結果について発表しました。

今後、クロマツ主体から広葉樹主体の森林に向け、新しい施業方法の確立を目指す取り組みのために、継続的な調査を行うことが求められています。

【技術専門官】

# 冬道の安全運転講習

今年の冬道講習では、各種車両の性能や冬道に対する弱点について、またスリップ時の対処方法や轍から抜け出す方法を学びました。

実技では、実際に街中を走行し、ABSの作動した状態を体験したり、作動させないブレーキの踏み加減を実践しました。

普段は雪の少ない道路を走行しているため、気がつくともあります。今回、改めて冬道の危険性を確認することができました。今後も自分の運転技術を過信せず、常に初心に戻って安全運転を心掛けたと思います。

【志田有里絵】

1月20日、冬道の安全運転講習のため麻生自動車学校まで行ってきました。

はじめに、冬道についての講義を受けました。普段は、4WD車しか乗ることがないので、FF・FR・4WDのメリット、デメリットを聞くことができ勉強になりました。

路上実習では、ABSによる停止等を中心に行いました。冬道の怖さを改めて実感することができました。

この講習で学んだことを、これからの運転に活かしていきたいと思えます。

【三上祥隆】

1月20日に冬道安全講習に行ってきました。去年に引き続き、今年も受講したことになりますが、冬道の運転に不安を感じる私にとってはありがたいことです。

今回の講習も座学・実地の順で行われましたが、1年も経つと意外と細かい中身を忘れていたもので、それだけ日常の運転で講習内容を実践出来ていなかったということでしょう。

せっかく2度も受講しているのに、今後の冬道運転に不安の無いように、運転技術の向上に努力していきたいと思えます。

【東理泰範】

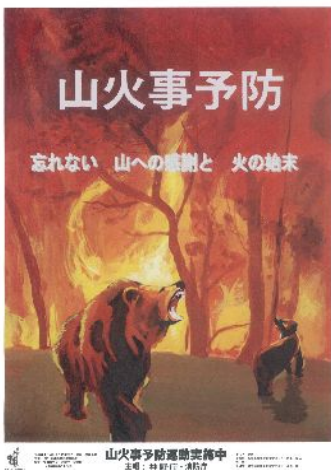
## 山火事警防実施期間

4月1日から6月30日（強調期間5月31日まで）

平成24年林野火災予防全道統一標語

火のつなみ 森をすべてのみこむよ

（滝上町立滝上小学校 三年 張間 木華）



3月5日（月）、林野火災発生期の危険期を迎え、林野火災予消防対策の万全を期すため、「日高地区林野火災予消防対策協議会」が日高合同庁舎四階講堂で開催され、林野火災被害概要・気象概況の報告、予消防対策実施方針について協議しました。

平成23年の林野火災の発生状況は、全道で6件発生（日高地区は0件）しており、前年と比較すると9件の減少となっていますが、その殆どが人為的な過失によるものとなっています。また、発生時期は半数が危険期での発生となっています。

これから空気の乾燥期を向かえ、林野火災の発生の危険時期となります。また、雪解け後には、登山や山菜採り等のレクリエーション目的での入林者が多くなります。

一人一人が火の取扱に十分注意し、林野火災を未然に防止することが必要となりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

【管理係長】

# 現場だより

## 三石森林事務所森林官

清藤 晃二

月日の経つのは早いもので、三石森林事務所勤務となり、初めて単身赴任を始めて今年の3月で丸3年になります。

その間、主な仕事としては、夏は造林請負・委託調査の監督検査、冬は製品生産の支障木調査等、そして一年を通して地・林況調査を行ってきました。

昨年冬からは、ハンターがシカの一斉駆除を行いやすい様に各林道を除雪し、入林しやすい状況を作り、その巡視も行っています。



地・林況調査



林道の除雪の様子



林道を除雪したおかげで、地・林況調査での現地への入林も容易になり、すぐ近くまで車で移動出来るのはいいのですが、現場の雪はまだ締まっておらず、カンジキを履いていても、時には腰まで雪に埋まり、悪戦苦闘しながら調査を進めています。

毎日、疲労困憊になり、一晩では疲れもとれない(年のせいかも?)状況が続きますが、健康管理と食事に気をつけ、毎日の入浴で心と身体をリフレッシュさせながら、今後の仕事に頑張っていきたいと思えます。

# 人の動き

(3月31日付)

【退職者】

○管理官 佐久間 政敏

(4月1日付)

【転出者】

○上川北部森林管理署

(次長) 永野 正人

(次長)

○空知森林管理署

継立森林事務所森林官 清水口 英

(業務第二課長)

○北海道森林管理局 総務部

経理課 計理主任 澤田 修一

(経理係長)

○石狩森林管理署 業務第一課

技術専門官 津田 透

(管理係長)

○森林技術総合研修所出向

養成研修専攻科研修生 佐藤 将

(治山第一係長)

○後志森林管理署 業務第二課

森林育成係長 志田 有里絵

(治山課 えりも治山事業所主任)

○石狩森林管理署 業務第二課

販売係長 大水 貴博

(奥静内森林事務所森林官)

○日高北部森林管理署 業務課

経営係長 土田 良己

(若園森林事務所森林官)

○石狩森林管理署

小樽内森林事務所森林官 清藤 晃二

(三石森林事務所森林官)

【転入者】

○次長 金澤 博文

(北海道森林管理局 計画部

指導普及課 知床森林センター所長)

○管理官 木立 孝司

(留萌北部森林管理署 総務課長)

○業務第二課長 上村 忠一

(北海道森林管理局 計画部

国有林野管理課 処分係長)

○総務課 経理係長 土井尻 康輔

(空知森林管理署 総務課 経理係)

○業務第一課 管理係長 菅原 宏幸

(石狩森林管理署 千歳森林事務所森林官)

○治山課 治山第一係長 山岡 史忠

(日高北部森林管理署 業務課 経営係)

○治山課 治山第二係長 浅野 勇哉

(石狩森林管理署 銀山森林事務所森林官)

○治山課 えりも治山事業所主任

佐藤 可菜

(上川北部森林管理署 業務第一課 経営係)

○奥静内森林事務所森林官 鈴木 啓之

(胆振東部森林管理署 治山第二係長)

○若園森林事務所森林官 齊藤 靖司

(石狩森林管理署 積丹森林事務所森林官)

○三石森林事務所森林官 山本 忠史

(石狩森林管理署 総務課 総務係長)

【新規採用者】

○御園西森林事務所 菊池 正浩

(三種・林業)

【内部異動者】

○治山課付 大谷 朋未

○奥静内森林事務所 小針 敏和

# 一～三月の行事予定

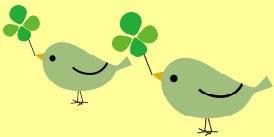


## 【一月】

- 1日～31日 ゼロ災害月間（本月間）
- 4日 仕事始め
- 5日 署長現場巡視（浦河・静内・東川地区）
- 6日 奥新冠地区保全整備（保育間伐等）第6号一般競争入札  
若園地区数量調査（保育間伐等）第1号一般競争入札
- 10日 狩猟巡視（新冠地区）
- 11日 安全点検（東川地区）  
VD T点検（浦河・えりも地区）
- 12日 狩猟巡視（静内地区）
- 16日 安全点検（静内地区）  
狩猟巡視（浦河地区）  
安全点検（浦河地区）  
産業医現場巡視（浦河地区）
- 18日 スノーモビル使用に伴う安全教育
- 20日 冬道安全運転講習（麻布）
- 23日 新ひだか町森林整備計画書作成にかかる全体会議（第3回）  
第3回えりも町森林整備計画作成全体会議
- 24日 浦河町森林整備計画第3回作業チーム全体会議  
次長「ゼロ災害月間」安全指導（署・御園地区）
- 25日 新冠町森林整備計画書作成作業チーム第3回全体会議  
次長「ゼロ災害月間」安全指導（浦河地区）  
安全衛生委員会
- 26日～27日 北の国・森林づくり技術交流発表会
- 27日 体験林業「年輪クラブ」定期総会
- 【二月】
- 2日 狩猟巡視（新冠地区）
- 6日 VDT点検（えりも地区）
- 7日 安全点検（浦河地区）  
狩猟巡視（静内地区）
- 8日 公務員宿舍修繕業務一般競争入札

## 【三月】

- 2日 オケルンベ沢治山工事一般競争入札  
アブカシヤンベ沢治山工事一般競争入札  
司法事務研修
- 5日 日高振興局森林保全管理推進協議会  
日高地区林野火災予防対策協議会
- 8日 海岸防災林造成事業（その3）一般競争入札
- 12日 産業医現場巡視（浦河地区）
- 13日 十勝流域林業・木材産業活性化に向けたシンポジウム
- 14日 狩猟巡視（新冠地区）  
デジタル複合機賃借契約一般競争入札  
VD T点検（静内地区）
- 15日 安全点検（浦河地区）
- 21日 宿舍運営委員会
- 27日 新冠地区林野火災予防対策協議会  
日高地区緑化推進委員会通常総会
- 28日 新ひだか地区林野火災予防対策協議会
- 29日 浦河地区林野火災予防対策協議会  
森林官等会議  
安全衛生委員会
- 30日 辞令交付（退職者）
- 13日 産業医現場巡視（静内地区）
- 14日 狩猟巡視（浦河地区）
- 15日 地域主権フォーラム日高  
森林官等会議
- 20日 平成24年「日高の森林づくりを広げる集い」  
狩猟巡視（新冠地区）
- 22日 狩猟巡視（新冠地区）  
ゴム印作成外一般競争入札
- 23日 日高流域林野行政連絡協議会事務局会議
- 24日 広報委員会  
安全衛生委員会



☆これから新年度が始まります。皆さんの連携・協力で1年間無事故・無災害で頑張りましょう！

★季節は春になりましたが、例年になく雪が多い年になりました。山にはまだまだ残雪等ありますので、路面状況に応じた安全運転を心掛けましょう！

☆『petecari』も新体制になって2年目に突入しますが、引き続き皆様のご協力をお願いします。  
(事務局)